

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年4月23日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4679400095
法人名	有限会社 ひだまり
事業所名	グループホーム ひだまり
所在地	鹿児島県大島郡泊町国頭2959-1番地 (電話) 0997-92-2398
自己評価作成日	平成30年3月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域で開催される各種行事へは積極的に参加しています。また、行事以外にも天気が良いと手作りの弁当を持って出かけたり、食材を持って現地で作ったりして楽しんでいます。ケアの面では利用者が落ち着いて過ごせるような声かけやケアを常にこころがけ、ホームは穏やかな明るい雰囲気になっています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成30年4月10日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームの入居者が集落の長寿クラブの毎月の定例会に参加したり、地域行事の盆踊りや運動会などで馴染みの関係継続ができています。学生の職場体験学習の受入れや保育園児との交流も定期的に行っている。近隣の方からの野菜等の差し入れも頻繁にあり、事業所は地域との交流を大切にしている。
- ・家族の要望や意見から、ケアに関すること・車いす使用について・排泄後の対処についてなど、意見を運営に反映している。
- ・重度化や終末期に向けての支援は主治医と家族の協力の下で、看取りケアの支援も行っている。
- ・排泄支援で、チェック表での誘導やポータブルトイレも使用し、開設以来、オムツ使用者がいない。排泄の自立に向けた支援が十分にできている。
- ・入浴を拒否する利用者に毎日の声掛けで、いつでも入れるような体制で入浴の支援を行っている。
- ・気軽に園庭を散歩したり、各種行事の参加やドライブなどで出かけ、外出支援を行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	常に理念に基づいたケアを心がけています。	事業所の理念はホール正面に掲示し、常に理念を確認、いきいきと過ごせるように管理者と、職員は実践に繋げている。理念の見直しを検討している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の学校の各種行事や長寿クラブの定例会、各種行事などに積極的に参加し、地域運営にも関わるように努力しています。	長寿クラブの会員として全入居者は毎月の定例会に参加し、盆踊りや運動会などに参加、中学生の職場体験学習の受入れや保育園児との定期的な交流、近隣の方からの野菜の差し入れや地域住民が気軽に立ち寄るなど、日常的に地域との交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	研修会等の講師として呼ばれる機会が多く、経験からの認知症に対する知識と、正しいケアを広めるために生かしています。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の日常や行事参加の様子をスライドで紹介し、その感想やアドバイスを日々のケアに活かしています。	定期的に運営推進会議を開催し利用者の状況や行事の案内・職員の紹介・外部評価の報告などを行い、アドバイスをもらいサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	常に連携は取れており事業所の取り組みも理解されていると思います	事業所の実情など報告している。行政からは研修会の案内や処遇改善の事など話し合っている。管理者は町の担当職員や地域包括支援センター職員から認知症サポーターの講師依頼などがあり、行政との協力関係ができています。	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	勉強会を開催しています。玄関の鍵は防犯のために夜間のみ施錠しています	身体拘束に関するマニュアルを基に研修会を年1回実施、玄関の施錠は夜間のみ行っている。外出希望の利用者には見守りや一緒に散歩するなどしている。転倒防止の為に車いす固定の使用など、家族から依頼があり家族の了解のもとに行う事もある。	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	常に意識して防止に努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	勉強会も開催していますが、現在利用している方はいません		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	面会時の説明と文書で解りやすい説明を心がけています。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	家族の面会時のコミュニケーションや運営推進会議への参加、苦情受付窓口やご意見箱を設置しています	利用者からは日常的に思いを聞いている。家族からは意見箱を設置しているが、直接相談されることが多い。ケアに関することや排泄後の対処について・車いす使用時のベルト使用など、転倒防止のために依頼される事があり、運営に反映している。	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	職員会等での意見を検討し反映するように心がけています	月1回職員会議を開催し、ケアのあり方・体位交換・エアーマット使用・利用者と職員と一緒に作品作りをするなど、職員の意見を反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>資格や勤務実績等を考慮した給与体系を公表し努めています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>島内での研修会や講演会には必ず参加するようにしており、ホーム内ではOJTを活用しています</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>島内のグループホームや他の介護施設とも交流できるように取り組んでいます</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	安心して過ごしていけるように努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族から聞く機会を多くとるように努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族の意見や利用者の状態の把握に努め必要な支援を提供できるようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	築くことを目標に常にケアを展開しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>築くことを目標に常にケアを展開しています</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの理容室や通いなれた教会へは毎週送迎し、支援に努めています。</p>	<p>集落の長寿クラブの会合に毎月参加したり、買い物や理容室・教会と一緒に出かけている。家族との時間を作り、墓参りなど家族と出かけ、馴染みの関係継続ができる支援を行っている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>常に目を配り心がけて支援しています</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>時節の挨拶や行事への呼びかけ等関係が続いています</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の主体性を大切にしながら可能な限り努めています	本人の思いは表情や仕草などで、把握できた事は日誌に記録し、申し送りで職員は共有している。把握の困難な場合は家族に相談するなど、本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族やケアマネージャー等からなるべく多くの情報を得るように努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	それぞれにできることをしていただきながら過ごしていけるように努めています		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族の面会時に実施するようにならざるべく本人にも参加してもらおうようにしています	本人・家族・介護担当者と一緒に介護計画書を作成している。家族が参加できないときは電話で聞くなどしている。モニタリングは毎月1回、職員会とケア会議で行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	各種記録類を参考にして活用しています		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	可能な限り対応するように努めています		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	可能な限り支援するように努めています		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>定期受診時はホームで対応し、緊急時等は家族と連絡を取り一緒に受診に付き添い、安心を提供できるように島内の医療機関の協力のもとに支援しています。必要なときは往診もしてくれます。</p>	<p>かかりつけ医は事業所の協力医療機関である。定期受診は事業所で行っており、緊急時は家族と連絡を取りながら対応している。必要時は往診などで対応し、研修医も訪問するなど、適切な医療が受けられるよう連携が整っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護の提携による毎週の定期訪問時以外にも連絡がとれる体制で支援しています</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>必要な情報交換を行い、関係づくりにも努めています</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期に向けては主治医、家族との話し合いをふまえて共通の意識のもとに取り組んでいます。</p>	<p>入居時に終末期に向けての説明を行っている。食事が取れなくなったときはかかりつけ医と段階的に話し合っ、医療と連携を図り、家族の協力の下で看取りの支援に取り組んでいる。現在まで多くの看取りケアを行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的な訓練を実施し、できていると思います</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練は地域に呼びかけて協力のもとに実施しています</p>	<p>年2回消防署立会いの下で夜間想定も含め火災避難訓練を実施している。地域の方にも参加を呼びかけている。避難場所への避難訓練なども行っている。備蓄の飲料水や食糧・尿とりパット・医療備品などの準備はできている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけや誘導の方法に工夫し、常に配慮したケアを心がけるようにしています	プライバシーを損ねないための研修会を年1回実施している。言葉かけには特に注意しながら行っている。気づいた時は管理者から注意するなどプライバシーの確保に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常に利用者主体の声かけをこころがけて取り組んでいます。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしい日常生活を基本に支援しています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の主体性を大切にしながら支援しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の献立、準備から配膳、片づけまで一緒にするように心がけています。	野菜の下拵えやお盆拭き・後片付け・買い物同行など、職員と一緒にしている。ホットケーキやお茶うけの味噌作りなどを行い、ベランダでお茶を楽しんでいる。掘りたてのジャガイモを庭で焼き、焼きジャガイモをみんなで食べるなど、食事を楽しむ支援を行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立の工夫や少しでも水分を補給できるようにトロミや温冷、味を変えて取り組んでいます。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後実施されています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄のパターンを把握してそれぞれの身体機能に合わせた支援をしています。オムツの使用は開設して実績なし	排泄パターンでトイレ誘導を行っている。日中も夜間もポータブルトイレなどを使用し、現在までオムツの使用者はいない。排泄の自立に向けた支援が徹底している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝の牛乳やより多くの水分摂取、食事やおやつも繊維質を多くとってもらうように工夫して取り組んでいます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	日中であれば毎日でも入浴できます。最低でも2日に1回は入浴できるようにしています。	毎日の入浴が対応できるようにしている。拒否する利用者には毎日のように声かけを行い、個々に応じた対応で入浴支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室空間や寝具、ベッド等の工夫や加湿器、湯たんぼ等を使用して支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院や薬局と連携をとり努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>それぞれにできる事や特技を日々の活動や生活の中で活かせるように支援しています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>地域の学校の各種行事や長寿クラブの定例会、各種行事などに積極的に参加し、外出の機会を設けています。</p>	<p>地域行事に参加するために公民館まで歩いていく事や園庭の花に水やり・ドライブ・買い物などで出かけている。月2回は全員でのドライブを楽しんでいる。家族が墓参りに一緒に行くなど、日常的に外出できるような支援に努めている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>支援しています</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>手紙や荷物が届いたら必ず電話をかけて話せる機会を多くもてるように支援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾ったりして取り組んでいます	ホールは明るく日当たりもよく、室内は湿・温計で調整されている。壁には行事ごとの写真や職員と一緒に作った作品が飾ってある。季節の五月人形やこいのぼりなどが飾られている。懐かしいメロディーが流れて口ずさむ利用者もいる。テーブルを囲み居心地よく過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂の畳スペースで過ごしたり、互いの居室の交流もあります		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の状況に合わせてベッドや家具を自立を考慮して配置し、快適に過ごせるように工夫しています。	自宅からテレビやラジオ・仏壇・遺影などを持ち込んでいます。ソファを置き、壁には家族の写真や誕生日に贈られた子供や孫からのメッセージのカードなどを飾り、家庭的なぬくもりの中で、居心地よく過ごせる工夫がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	職員のアイデアを取り入れ案内板や危険防止を図る工夫をしています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない